

喜びも悲しみも幾歲月

【作詞】木下 忠司
【作曲】木下 忠司

□□□□□

おいら岬の灯台守は
妻と二人で沖ゆく舟の
無事を祈って灯をかざす
灯をかざす

冬がきたぞと海鳥啼けば
北は雪国 吹雪の夜の
沖に霧笛がよびかける
よびかける

離れ小島に南の風が
吹けば春くる 花の香だより
遠い故郷思い出す
思い出す

あしたに夕べに入船出船
妻よ頑張れ涙をぬぐえ
燃えてきらめく夏の海
夏の海

星をかぞえて波の音きいて
ともにすごした幾年月の
喜び悲しみ目にうかぶ
目にうかぶ

喜びも悲しみも幾歲月

【作詞】木下 忠司
【作曲】木下 忠司

□□□□■

1.

おいら岬の

灯台守は

妻と二人で

沖ゆく舟の

無事を祈って

灯をかざす

灯をかざす

喜びも悲しみも幾歳月

【作詞】木下 忠司
【作曲】木下 忠司



2.

冬がきたたぞと

海鳥啼けば

北は雪国

吹雪の夜の

沖に霧笛が

よびかける

よびかける



喜びも悲しみも幾歳月

【作詞】木下 忠司
【作曲】木下 忠司

3.

離れ小島に

南の風が

吹けば春くる

花の香だより

遠い故郷

思い出す

思い出す



4.

あしたに夕べに
入船出船

妻よ頑張れ

涙をぬぐえ

燃えてきらめく

夏の海

夏の海

喜びも悲しみも幾歲月

【作詞】木下 忠司
【作曲】木下 忠司

5.

星をかぞえて
波の音きいて
ともにすごした
幾歲月の
喜び悲しみ
目にうかぶ
目にうかぶ

5 / 5

End